

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年6月30日(2011.6.30)

【公表番号】特表2010-527981(P2010-527981A)

【公表日】平成22年8月19日(2010.8.19)

【年通号数】公開・登録公報2010-033

【出願番号】特願2010-508909(P2010-508909)

【国際特許分類】

A 6 1 K 45/06 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 P 35/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 45/06

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 43/00 1 2 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 35/04

【手続補正書】

【提出日】平成23年5月16日(2011.5.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 1 3 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【 0 1 3 7 】

インビボでの研究：

S W 6 2 0 腫瘍は文献(Chapter 31(第 3 章) “ In vivo Tumor response End Points ” by B. A. Teicher (参照 “ Tumor Models in Cancer Research ” edited by Beverly A. Teicher, p596. Published by Humana Press Inc. 2002)記載の通り、メスのヌードマウスにて実行した。腫瘍が $\sim 170\text{ mm}^3$ に達した時点で処置を開始した。この研究では 6 群を使用し、 $n = 10$ 匹 / 群とした。P A R P 阻害剤、4 - [3 - (4 - シクロプロパンカルボニル - ピペラジン - 1 - カルボニル) - 4 - フルオロ - ベンジル] - 2 H - フタラジン - 1 - オンは週に 5 回、 50 mg / kg (経口)で与えた。C H K 阻害剤、5 - (3 - フルオロ - フェニル) - 3 - ウレイド - チオフェン - 2 - カルボン酸(S) - ピペリジン - 3 - イルアミドは、 12.5 mg / kg および 25 mg / kg として、週 2 回(静脈内)投与した。組み合わせ剤群には P A R P 阻害剤を 50 mg / kg (週 5 回)で投与し、その 2 時間後に C H K 阻害剤を 12.5 または 25 mg / kg (週 2 回)投与した。マウスは 3 週間の処置を受けた。全体として、処置には十分に耐え得るものであったが、C H K 阻害剤を 25 mg / kg で投与した群の 1 匹の例においては、研究の終末点に至る前に死亡したことが判明した。最大の体重喪失 % を示す結果を表 3 に示し、有効性の結果を表 4 に示す。